

# 幕張新都心モビリティコンソーシアム 第6回総会



開始までお待ちください。

- Zoomの設定のお願い
  - カメラOFF
  - お名前:「会社名\_\_お名前」

2023年6月5日

## 開催にあたっての留意事項

### ○以下、オンライン参加の方へ

- 名前の表示
  - 「貴社（団体）名\_お名前」としてください。（例：千葉市\_鈴木）
- 総会中のカメラ、マイクは発言時のみオンとしてください。
- 発言時は『チャット』や『手を挙げる』機能を活用下さい。
- 録音・録画、画面の撮影は厳禁でお願いいたします。



### ○以下、現地参加の方へ

- 現地参加でZoomに入室する方につきましては、音声はミュートではなく、オーディオの切断をお願いいたします。

# 幕張新都心モビリティコンソーシアム 第6回総会



2023年6月5日

## 本日の次第

	次第	発表者	時間
10:00-	<b>1 開会（事務局）</b>	事務局（千葉市）	2分
10:02-	<b>2 議題</b>		
	(1) 座長の決定	事務局（千葉市）	5分
	(2) 2023年度コンソーシアム運営体制	事務局（千葉市）	5分
	(3) 個別事業報告		
	①電動キックボード	長谷川工業(株)	10分
	②まくはりMaaS	(株)NTTドコモ	10分
	(4) 2023年度千葉市事業	事務局（千葉市）	5分
	(5) PT概要説明	各PTリーダー	30分
11:07	<b>3 連絡事項</b>	事務局（千葉市）	3分
11:10	<b>閉会</b>		

# (1) 座長の決定

## ◆岡村教授のプロフィール



氏 名：岡村 敏之（オカムラ トシユキ）

役 職：東洋大学国際学部国際地域学科 教授

研究分野：社会基盤（土木・建築・防災） / 土木  
環境システム

社会基盤（土木・建築・防災） / 土木  
計画学、交通工学

## ◆主な経歴

1999年 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学  
専攻博士課程修了

1999年 広島大学大学院国際協力研究科 助手

2005年 横浜国立大学大学院工学研究院 助教授

2012年 東洋大学国際地域学部国際地域学科 教授

2016年 東洋大学国際学部国際地域学科 教授

## ◆主な委員歴

●地域公共交通総合研究所 アドバイザリーボード

●交通工学研究会 交通工学編集委員会

●立川市 総合都市交通戦略協議会

●板橋区 交通政策基本計画策定委員会

●横浜市 横浜市自転車施策検討協議会 委員

●相模原市 地域公共交通会議 委員 など

## (2) 2023年度コンソーシアム運営体制

## 組織体制

※2023年度はWGを廃止し、会員発意でのPTテーマ設定・立ち上げ、リーダー会員による主体的な運営を想定しています

**幕張新都心モビリティコンソーシアム**  
座長：岡村敏之（東洋大学 教授）

※年に数回の定例会を開催

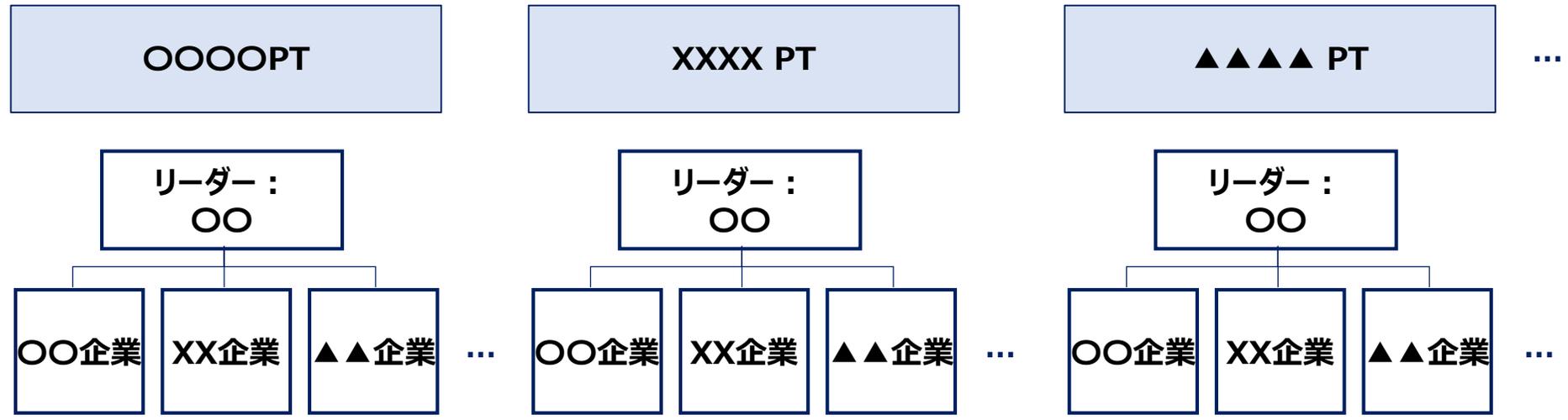
**オブザーバー**  
(自治体、関係省庁など)

協力

進捗共有

### PT（プロジェクトチーム）の体制

- ・PTは会員からの提案により組成
- ・事務局も必要に応じてPTに参加
- ・PTは実施主体（リーダー）を筆頭に、各PT2~5社程度を想定
- ・PTテーマに関係する他PTとは適宜情報共有を実施



## 2023年度組織体制

現在までにPT設置の提案があったものは以下のとおり。

PT名	PTリーダー	PT取組概要
<b>自動運転バス 社会実装PT</b>	損害保険ジャパン 株式会社 アイサンテクノロジー株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年度中に幕張エリアにおける自動運転バスの社会実装を目指す。</li> <li>・そのために必要な課題を本PTで整理し、実装に向けた具体的なスキームを確立させること。</li> </ul>
<b>巡回バス機能の向上による回遊性向上PT</b>	イオンモール 株式会社	オンデマンドバスシステムを含めたバス機能の向上により、エリア内の交通の最適化や回遊性向上を図る。将来的な自動運転技術の導入も見据える。
<b>MASSIVE WORLD活用PT</b>	Super Massive Global 株式会社	MASSIVE WORLDアプリを利用したイベントを実施し、モビリティを利用して幕張新都心を中心とした主要商業施設やベイエリアの回遊を促し、その効果の測定を行う。

## (3) 個別事業報告

# ① 電動キックボード

# 新事業特例制度 電動キックボードシェアリングサービス



SUMRIDE



長谷川工業株式会社

## ◆ 展開概要

海浜幕張エリアを中心に「機体台数：約80台」「駐輪ポート：24か所」で展開



新事業特例制度 実証実験

### 「電動キックボードのシェアリングサービス」

どのポートでも返却ができて、NICE!

**実施期間** 2021年4月28日 - 23年6月30日

**利用受付時間** 5:00-23:00

**実施地域** 千葉市美浜区及び中央区の一部(裏面参照)

**実施事業者** 長谷川工業株式会社

**利用対象者** 18歳以上の小型特殊自動車免許(普通自動車免許含む)保持者

**利用料金** 初乗り140円/10分毎(税込) ※クレジットカードでのお支払い

まずは  
こちらから



LINE登録

**ご利用方法**

**01 LINEで友だち追加**  
LINEを利用したサービスのため、アプリのダウンロードは不要です。

**02 専用ポートを見つかる**  
SUMRIDEは専用ポートでレンタルできます。

**03 車体のQRを読み込む**  
車体のQRコードを読み込むとロックを解除できます。

**04 専用ポートに返却する**  
ご利用後はお近くの専用ポートへご返却ください。  
※一時駐輪中は利用料金が加算します。

**走行ルール**

- 歩道走行禁止 車道の左側および自転車専用道・自転車道を走行ください。
- 一方通行 自転車可の一方通行では双方走行ができます。
- ヘルメット任意 安全のために着用を推奨しています。
- 免許証 走行時は運転免許証の携帯が必要となります。
- 危険走行禁止 交通ルールをしっかり守り安全に走行ください。

ルールを無視した走行や危険行為を及ぼした場合「関係者外」「強制退会」の処置を行います。  
※飲酒・二人乗り・歩道走行などは、違反となります。  
2車線以上の道路や交通量の多いところでの右折時は、歩道に移動して押していたくださいを推奨します。

実証実験実施エリア



1 駐輪ポート設置場所

**設置駐輪ポート**

① 豊砂公園	⑩ Zozoマリンスタジアム	⑲ 打瀬3丁目公園
② イオンモール幕張新都心店(グランモール棟駐輪場)	⑪ 幕張メッセ 国際展示場9-11ホール前	⑳ 美浜区役所
③ aune MAKUHARI前	⑫ 東都大学幕張キャンパス	㉑ JR映見川浜駅 第2自転車駐輪場内
④ JR海浜幕張駅 北口	⑬ イオンスタイル幕張ベイパーク	㉒ JR稲毛海岸駅 第7自転車駐輪場内(東側)
⑤ JR海浜幕張駅 南口	⑭ 打瀬2丁目公園	㉓ ヨットハーバー駐車場
⑥ 三井アウトレットパーク幕張 B-SITE前	⑮ 若葉3丁目公園	㉔ 稲毛民間財団記念館前
⑦ ワールドビジネスガーデン前	⑯ 打瀬第1公園	㉕ 稲毛海浜公園 白砂青松記念碑横
⑧ アパホテル&リゾート東京ベイ幕張	⑰ 打瀬公民館	㉖ 稲毛海浜公園 多目的広場前

**稲毛海浜公園 拡大マップ(走行禁止と園内走行可能部分)**



21 駐輪ポート設置場所

- 芝生や砂浜、橋の狭い道路など、走行可能エリア以外の走行は禁止されています。
- 歩行者優先で原則左側走行でご使用ください。
- 公園内で走行可能な電動キックボードは本実証実験で提供する電動キックボードに限ります。

キャンペーンや魅力ある情報を投稿！ぜひフォローよろしくお願いいたします。



## ◆ 撤退理由

改正道路交通法が令和5年7月1日付で施行され、新事業特例制度が終了することに伴い、現行のシェアリングサービスを新法令に適合させるためには、以下のいずれかの対応が必要であり、費用負担が困難であることから、千葉市との協議の結果、実証実験を終了することとした。

### 対応①

#### (1) 特定小型原動機付自転車への入れ替え

特定小型原動機付自転車への入れ替えるには、機体購入及び利用システム改修に高額な費用が必要となる。

OR



いずれも費用面から対応困難

### 対応②

#### (2) 特例機体への改造

令和6年12月31日までを猶予期間とし、機体改造を行えば特例で継続して使用できるが、制動灯の追加、最高速度表示灯（速度20km/h表示）の追加経費がかかる。

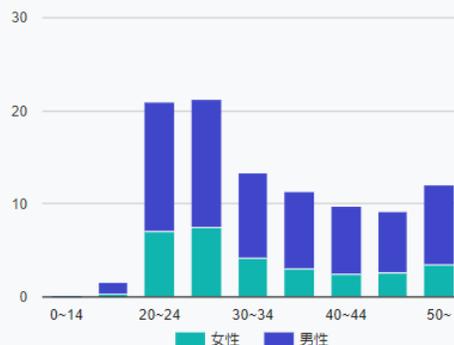
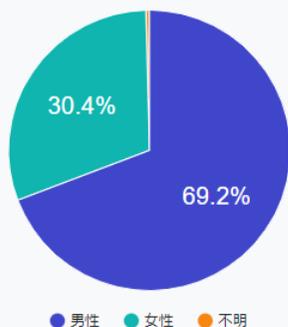
## 利用実績

繁忙期は5～6月で年間の約25%の割合で閑散期は11～12月で年間の約12%の割合

	21年4月～12月	22年1月～12月	23年1月～4月	トータル
アカウント登録数	4,741人	6,172人	1,609人	12,522人
乗車回数	5,683回	9,367回	2,450回	17,500回
1乗車あたりの平均乗車時間	26分10秒	24分03秒	24分15秒	24分45秒
1乗車あたりの乗車距離	2.99km	2.60km	2.65km	2.74km
駐輪ステーション数	16カ所	26カ所	26カ所	—
配置機体数	52台	71台	76台	—

## ユーザーの属性

他地区に比べ、若い世代男性と女性の利用率が高く、県内のユーザー割合も高い。



ランク	性別	割合
1	男性	69.2%
2	女性	30.4%
3	不明	0.4%

ランク	年齢	性別	割合
1	20~24	男性	14.0%
2	25~29	男性	13.7%
3	30~34	男性	9.2%
4	50~	男性	8.7%
5	35~39	男性	8.4%
6	25~29	女性	7.5%
7	40~44	男性	7.2%
8	20~24	女性	7.0%

ランク	地域	割合
1	千葉	50.2%
2	東京	22.1%
3	埼玉	5.5%
4	神奈川	4.6%
5	茨城	1.9%
6	大阪	1.6%
7	愛知	1.3%
7	不明	1.3%

## 試乗会（イベント）

乗車ルールやマナー、安全な走行方法の周知・啓発を目的に、安全講習会や試乗体験会を実施

開催年月	開催場所	イベント名	体験者数
2021年11月	稲毛海浜公園	small planet MARCHE	68名
2021年12月	アパホテル&リゾート	マクハリイルミ21/22	27名
2022年 1月	豊砂公園	SUMRiDE安全講習試乗会	23名
2022年 3月	若葉公園	SUMRiDE安全講習試乗会	20名
2022年 4月	ZOZOスタジアム	All FOR CHIBA 30 <sup>th</sup>	40名
2022年 4月	アパホテル&リゾート	GW EVENTS	10名
2022年 5月	稲毛海浜公園	small planet MARCHE	37名
2022年 6月	ZOZOスタジアム	千葉市スペシャルデー	82名
2022年 6月	東都大学幕張キャンパス	SUMRiDE安全講習試乗会	51名
2022年 7月	イオンスタイル幕張ベイパーク	周年祭	28名
2022年 8月	TIPSTAR DOME CHIBA	SUMRiDE安全講習試乗会	32名
2022年10月	WBG・テクノガーデン	幕張オフィスビルの合同説明会	5名
2022年11月	千葉港大漁祭り	SUMRiDE安全講習試乗会	254名
2022年12月	幕張ベイパーク	各都市東京事務所所長ツアー	12名
			689名



## アンケート調査①

ユーザー向けにアンケート調査実施（22年4月） ※回答数：221名



【◆新ポートのお知らせ◆】  
 ・東都大学幕張キャンパス  
 ・イオンスタイル幕張ベイパーク  
 GW、走行ルールを守り楽しくご利用ください🐾  
 【アンケートに答えてクーポン獲得】  
 ※5月10日まで  
 サービスの向上を目的にアンケートにご協力お願いします。  
 お答えいただきご希望者には無料クーポンをプレゼント！  
[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSddMcRj83O9gFHQL-ow0z0To8t3oibeUeh7WL-P\\_nwsKMgz1A/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSddMcRj83O9gFHQL-ow0z0To8t3oibeUeh7WL-P_nwsKMgz1A/viewform?usp=sf_link)  
 アンケート調査のお願い…  
 現在、千葉市と長谷川工業株式会社で共同で実施し…

### 現在のお住まいを教えてください

回答	件数	割合
千葉市美浜区	73	36.3%
その他千葉県	40	19.9%
千葉県花見川区	25	12.4%
千葉市中央区	16	8.0%
千葉市稲毛区	15	7.5%
その他	14	7.0%
千葉市若葉区	10	5.0%
千葉市緑区	8	4.0%
	<b>201</b>	

### 主な利用目的を教えてください

回答	件数	割合
レジャー・ドライブ	154	62.1%
ショッピング・買い物	55	22.2%
通勤・通学の往路	13	5.2%
通勤・通学の復路	12	4.8%
その他	9	3.6%
勤務中の移動	5	2.0%
	<b>248</b>	

### 乗車受付時間について教えてください

回答	件数	割合
今のままで良い(6~21時)	135	67.2%
終了時間を遅くして欲しい	48	23.9%
開始時間を早くして欲しい	11	5.5%
24時間	6	3.0%
夏と冬では変えても良い	1	0.5%
	<b>201</b>	

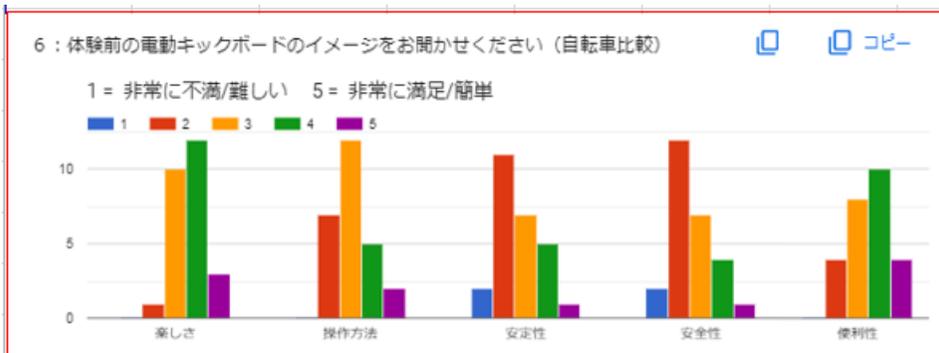
### 利用頻度について教えてください

回答	件数	割合
ほとんど利用していない	104	51.7%
月に1~2回	81	40.3%
週に3~4回	7	3.5%
週に1~2回	6	3.0%
利用したことがない	2	1.0%
ほぼ毎日	1	0.5%
	<b>201</b>	

## アンケート調査②

SUMRiDE安全講習試乗会でアンケート調査実施（22年8月） ※回答数：26名

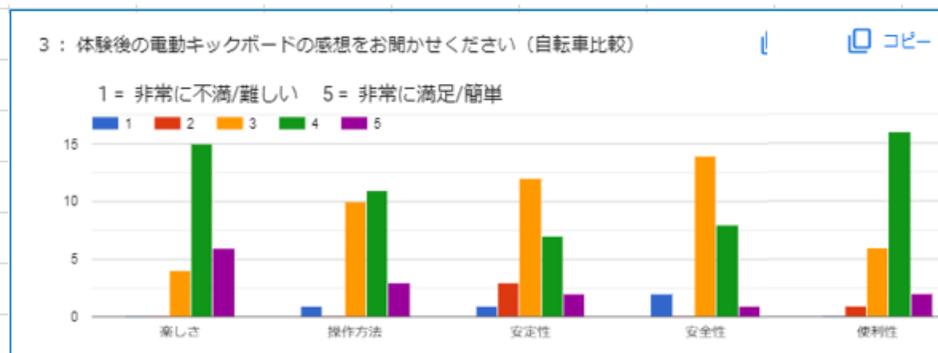
### 試乗前のご意見



### 7:その他、ご意見等を記載ください

- ・いきなり使うの怖いので参加しました
- ・イメージはあるが、実際に試乗することで、便利さを実感したい
- ・乗れるのを楽しみにしていました。(2名回答)
- ・事故に遭遇する可能性が大と考えています。
- ・兼ねてから乗ってみたいと思っていたので、すごく楽しみです。
- ・原付との違いが分かるかのような乗り物か伝わるとおもいます。
- ・基本的に安全な乗り物だと思いますのでもっと気楽に乗れると良いと思います。
- ・乗ったことが無いので乗りやすさ、乗り心地、安全性などを体験したい
- ・楽しみにしています(6名回答)
- ・自転車とどのように共存していくのが課題
- ・講習会で安全に利用することに努めたい
- ・よろしくお願ひいたします。
- ・ルール上類似したものが、わかりにくい
- ・公道では段差が不安
- ・初めての体験でワクワクしています。
- ・坂道が多い地域故に、原付二種クラスの電動キックボードに興味あり。
- ・手軽な移動手段として期待している反面、安全性が気になる箇所。
- ・自転車や車とはまた違って面白い乗り物だと思います
- ・特になし (2名回答)

### 試乗後のご意見



### 4:その他、ご意見等を記載ください

- ・30キロだと少し怖いかもかもしれない
- ・とても楽しかったです。ありがとうございました。(3名回答)
- ・スノボに乗っているようです無茶苦茶楽しかったです。
- ・市役所やポートタワー周辺にもステーションがあるとよいのでは
- ・思ったより操作が簡単で、疾走感があり楽しめました。
- ・手軽で乗りやすい。利便性も高い。公道で走行した時の安定性が気になることです。
- ・時速15kmでも、速さを感じました。いい体験が出来ました。ありがとうございます。
- ・背筋が伸びるような気がします。
- ・親指が疲れました(2名回答)
- ・電池なくなった時、どうすればいいですか。
- ・でこぼこ道を走ったらハンドルが取られそう。もう少し急ブレーキが利いた方が安心。
- ・公道に進むにはもう少しトレーニングが必要。
- ・広く世間に広がることを期待しています。
- ・思った以上に早く慣れることができ、身近な乗り物になるえる感じました。
- ・操作しやすくて楽しかったです。
- ・最高時速15kmと聞いていましたが、速く感じました。
- ・実証実験のエリアが千葉市駅周辺まで広がってくれればと思います。
- ・簡単な移動手段として利用したいと思いました。
- ・自転車よりは車道を走り、車道側の信号に従い走りやすいです。
- ・非常に楽しかったです。欲しくなりました。
- ・特になし (2名回答)

## ◆総括

### 【実証実験でわかったこと】

- ・平日よりも休日利用が多いこと、県外居住者が半数以上を占めることから、レジャー利用が大半であり、平時の移動手段としてはあまり使われず、**ビジネスモデルの構築が困難**であった。
- ・幕張新都心は、幕張メッセやZOZOマリンスタジアム、稲毛海浜公園など、県内外から多くの来訪者を呼び込む魅力ある施設・公園があり、**電動キックボードの新規登録者数が毎月増え続けた要因**と考えられる。  
利用者の90%が通算利用回数2回以下であり、実質的にこれらの観光やイベント等で来られた多くの方々にシェアリングサービスを支えていただけたこと、**県内外の方々にSUMRiDEのPRが出来た**ことは成果と考える。
- ・**交通量の関係で、国道357から海側に利用エリアが限られてしまい、総武線沿線及び京葉線沿線間の移動ニーズに答えられなかった**。7月1日から特定小型原動機付自転車として全国展開されるため、当該沿線間の新たなユースケースの発掘など、ビジネスモデルの構築が現実性を帯びる可能性がある。

## ②まくはりMaaS

# 22年度幕張新都心版MaaS実証実験 結果報告（速報）

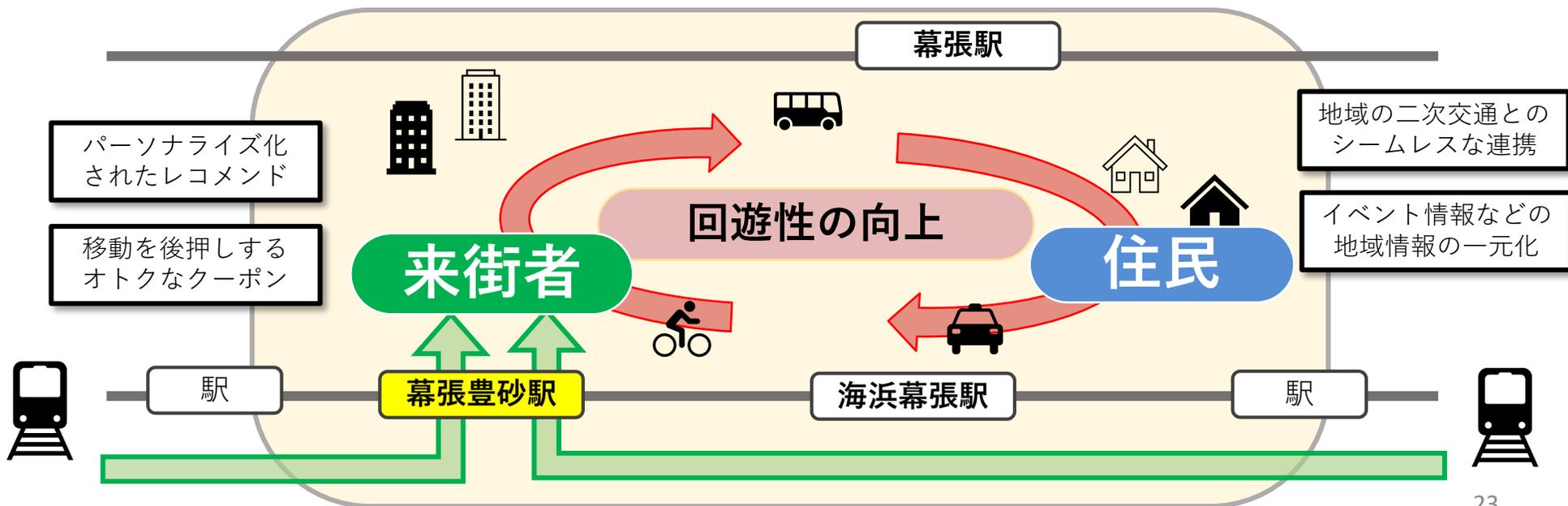
株式会社NTTドコモ  
東日本旅客鉄道株式会社

## 22年度実証の取り組み方針(振り返り)

22年度モビコン資料より再掲

- 地域住民に加え、**新駅開業に伴い増加が見込まれる来街者をターゲット**とする。
- 遠方より足を運ぶ来街者向けのタビマエのアプローチや、地域プレーヤとの連携を拡げ魅力的なコンテンツを揃え、**ユーザの回遊性・移動利便性の向上を図り、街全体の消費活性につなげていく。**

	サービス認知	目的想起	移動
住民	リアル、デジタルチャネルを駆使した、 <b>ユーザ理解度を高める仕組み</b> の拡充	知る機会の少なかった <b>イベント情報や魅力溢れる施設情報</b> を配信	路線 <b>バス遅延を考慮</b> したルート設計、 <b>キックボード等の地域二次交通</b> を提案
来街者	幕張豊砂 <b>駅や鉄道での来訪導線</b> におけるMaaSの認知・利用促進	<b>パーソナライズされた情報配信</b> でせっかくきた幕張を最大限満足してもらう	慣れない土地での動き方を目的とセットで提案、 <b>二次交通の利用導線</b> を準備

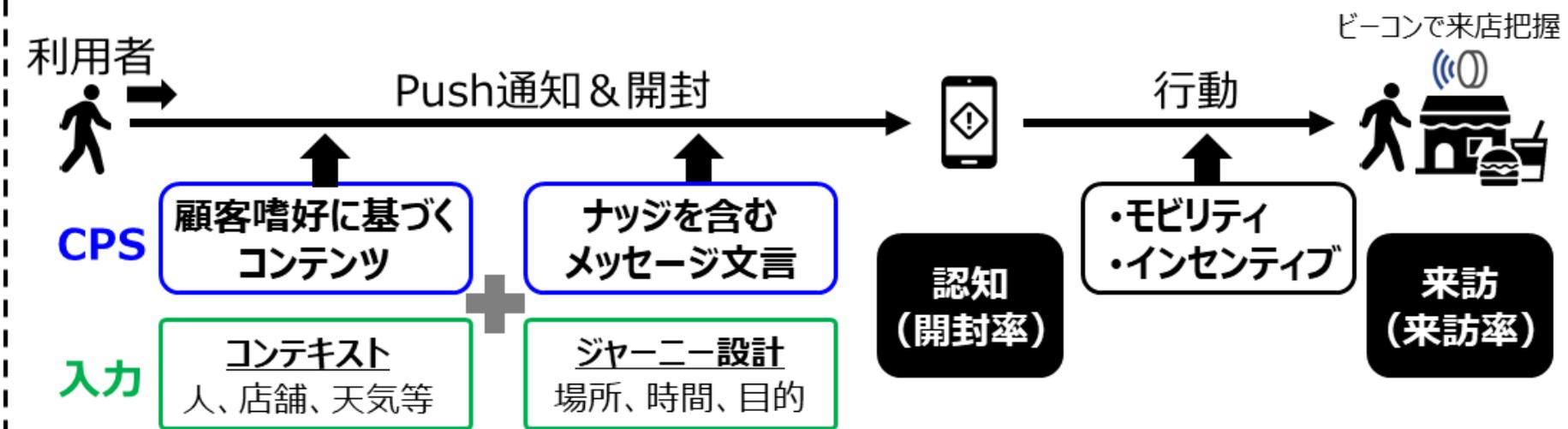


## 22年度実証の目的と仮説

地元の商業施設や交通事業者と連携し、『CPS（行動変容基盤）』のマッチング技術の磨きこみを行いながら、回遊性向上を目的とした行動変容に与える効果を測定する。

**仮説：個人にマッチする「コンテンツ」と「移動手段」が適時案内できるなら、行動変容が高まる**

### 本検証の流れ（スコープ）

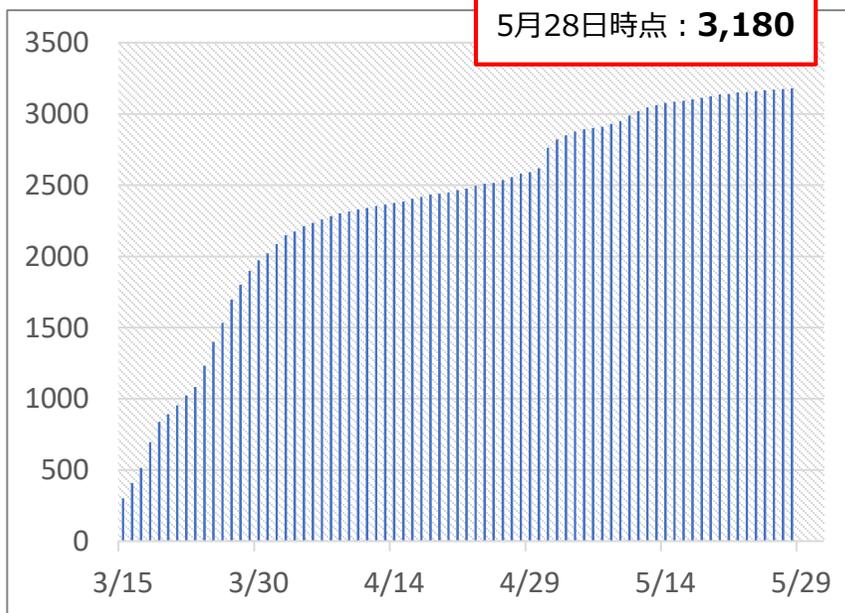


1. CPSが行動を学習し、認知・関心の高い情報を選別し、出し分け
2. 地元モビリティをアプリ間連携し、目的地までの制約の少ない移動を案内
3. 店舗やイベントなど魅力をそろえ、クーポンも重ねて行動までの動機を後押し

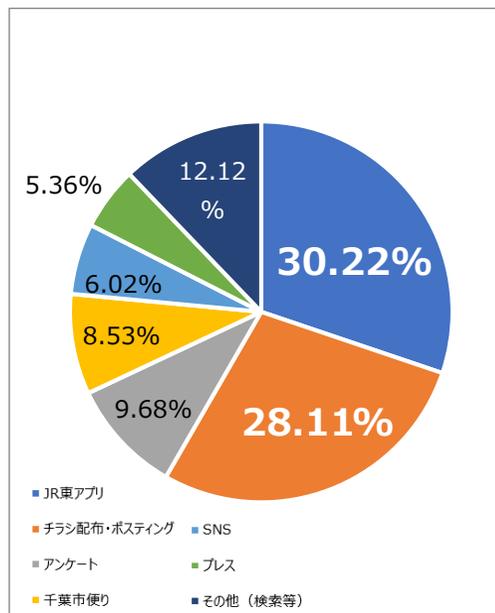
## サービス認知 結果

	サービス認知	目的想起	移動
課題	住民の10%が参画した一方、 <b>来街者への認知が手薄</b>	連携施設やイベント情報の追加 開拓の必要性	多様なモビリティの単なるリンク 集では利用にまで至らない

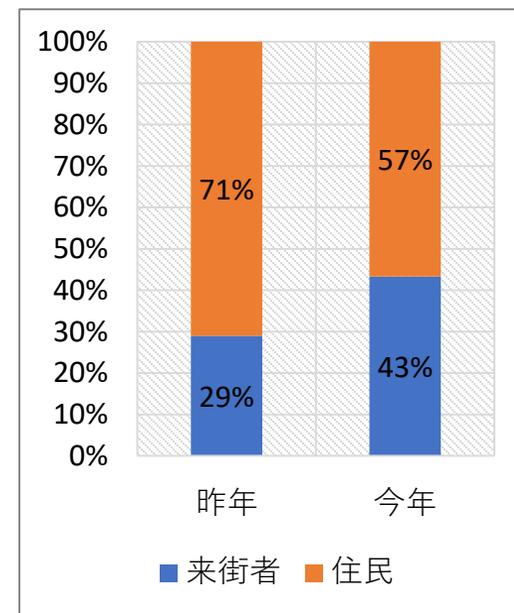
- 全国的に知名度の高いJREアプリやSNSを活用した来街者へのリーチ、駅・商業施設のチラシ・ポスター設置等により3千を超えるダウンロード数（昨年度実証の約44%）
- 来街者数は全体構成の43%※を占め、昨年度の割合を上回った。



ダウンロード数推移



プロモ施策からのLP流入比

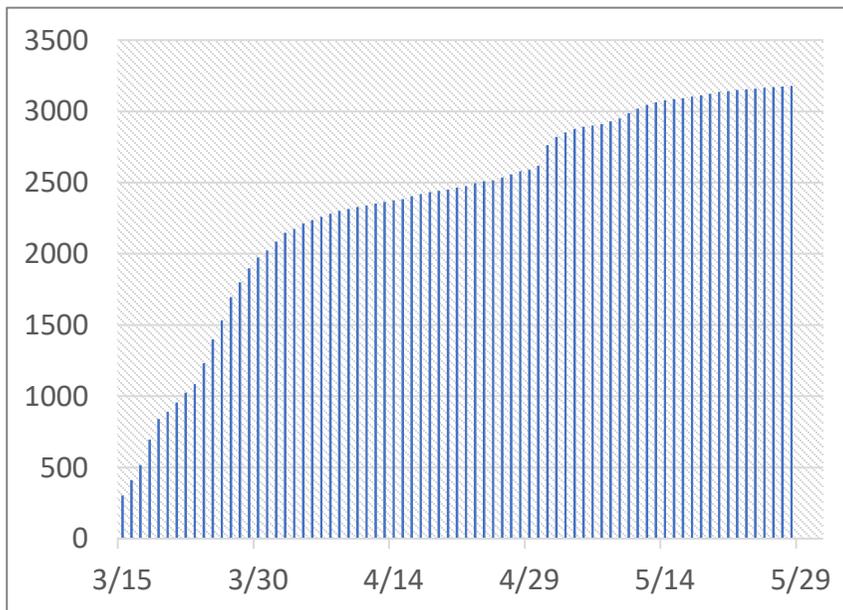


来街者・住民構成比

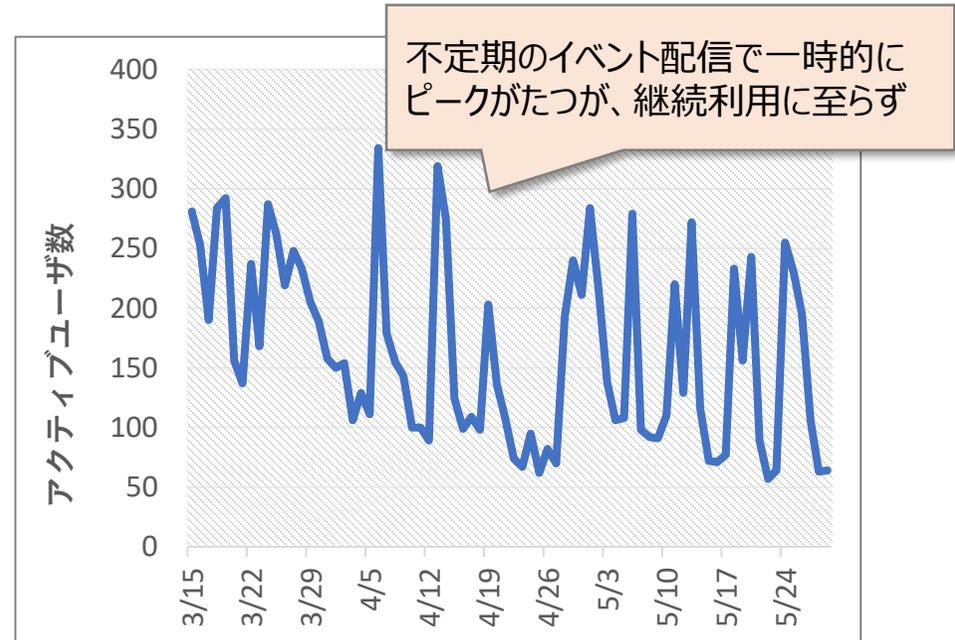
ーサービス認知 課題ー

	サービス認知	目的想起	移動
課題	住民の10%が参画した一方、 <b>来街者への認知</b> が手薄	連携施設やイベント情報の追加 開拓の必要性	多様なモビリティの単なるリンク 集では利用にまで至らない

- ダウンロード数の増加に対し、DAUが連動しておらず継続利用が少ないことが分かる。
- 今回の実証は「MaaSならでは」の価値提供が利用者にわかりづらく、能動的にMaaSを起動するモチベーションが不足し継続利用へと繋がらなかったことが主な要因と考える。



ダウンロード数推移

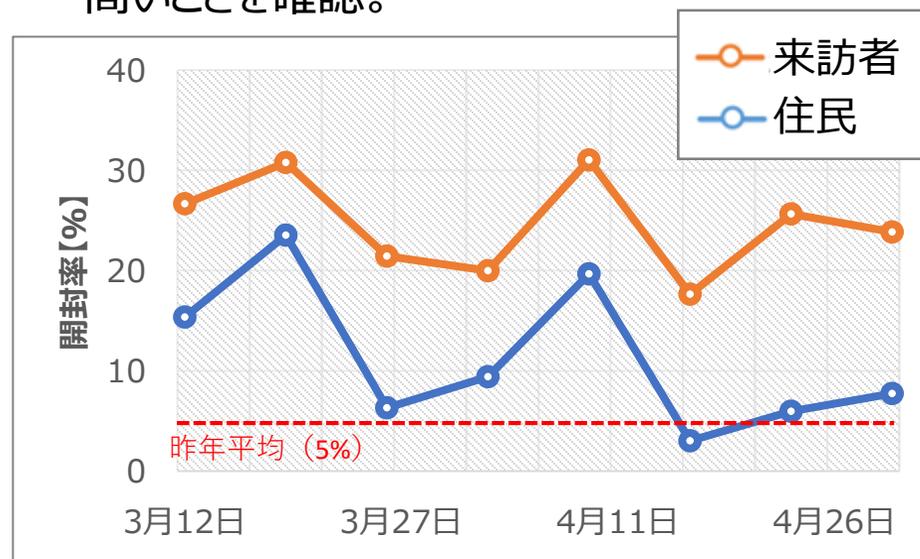


デイリーアクティブユーザ数の推移

## — 目的想起 結果 —

	サービス認知	目的想起	移動
課題	住民の10%が参画した一方、来街者への認知が手薄	連携施設やイベント情報の追加開拓の必要性	多様なモビリティの単なるリンク集では利用にまで至らない

- 店舗・イベント情報などコンテンツ数を昨年から約2倍（116件→220件）に増加
- 多様な情報を取り揃え『CPS（行動変容基盤）』に行動データを学習させてマッチング精度を磨き、昨年度の通知開封率から高まっていることを確認。（詳細の影響要因は分析中）
- イベント等の動的な情報の開封率は店舗施設等の静的な情報よりも高く、行動変容効果が高いことを確認。



開封率（住民-来訪者で比較）

種類	内容	平均開封率
動的情報	地域イベント等	<b>24.6%</b>
静的情報	店舗、施設等	<b>16.1%</b>

（参考）飲食店分野のメルマガ・DM開封率は18.5%  
引用元：Ultimate Email Marketing Benchmarks for 2022: By Industry and Day

開封率（動的-静的で比較）

## ーモビリティサービスの利用 1/2ー

	サービス認知	目的想起	移動
課題	住民の10%が参画した一方、 <b>来街者への認知が手薄</b>	<b>連携施設やイベント情報</b> の追加 開拓の必要性	多様な <b>モビリティの単なるリンク集</b> では利用にまで至らない

### ■ モビリティタブUI/UX (SUMRIDEの例)



**初めでも幕張エリアで使えるモビリティが一目でわかる**

**モビリティの説明で利用シーンがイメージできる**

**免許登録など事前準備を促せる**

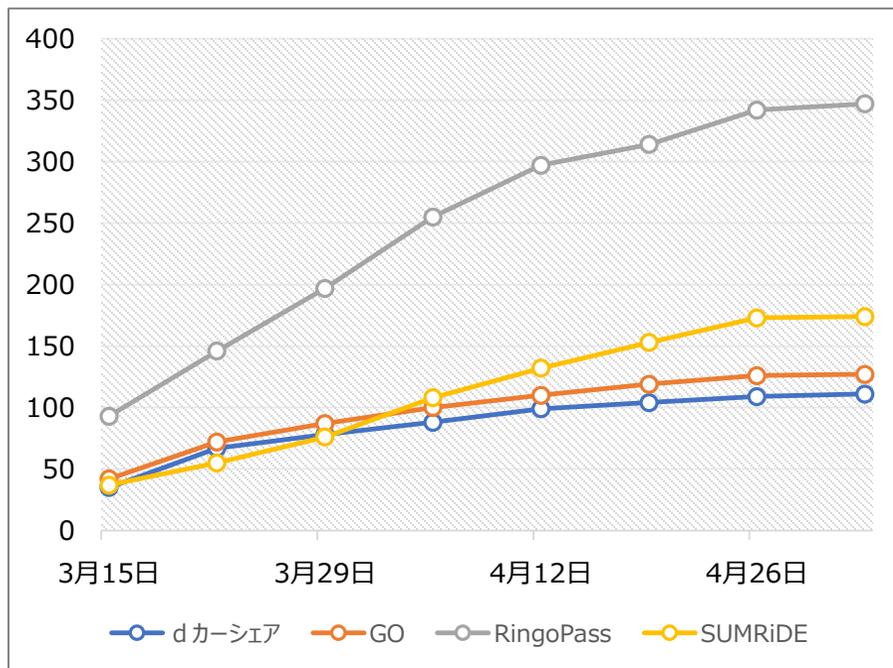
**公式HPリンクや説明動画で最初の利用ハードルを低減**

**モビリティポートにピンが立った状態でマップに遷移して付近のポートがすぐわかる**

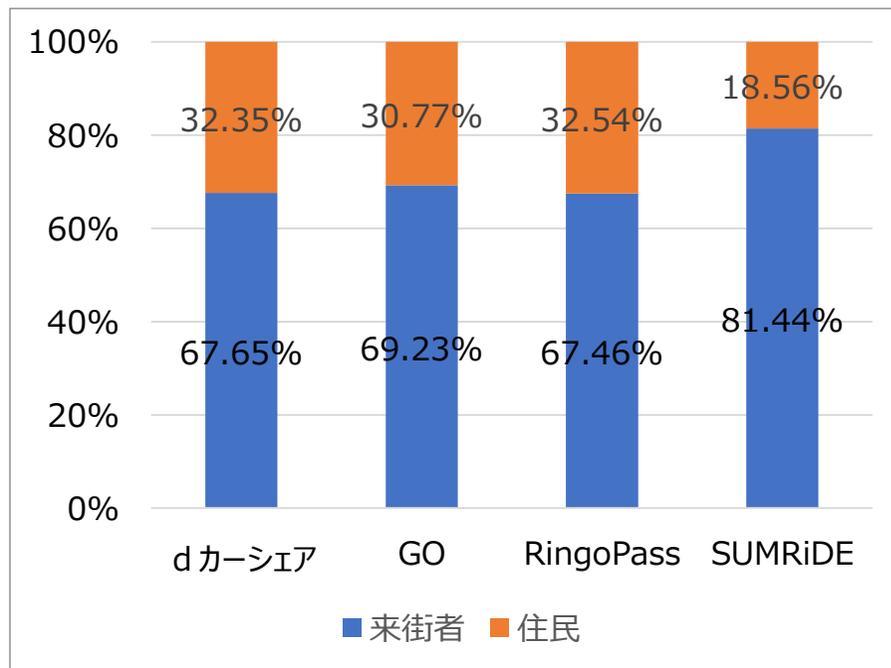
## ーモビリティサービスの利用 2/2ー

	サービス認知	目的想起	移動
課題	住民の10%が参画した一方、 <b>来街者への認知が手薄</b>	<b>連携施設やイベント情報の追加</b> 開拓の必要性	多様な <b>モビリティの単なるリンク集</b> では利用にまで至らない

- モビリティへの遷移数が昨年度より増加しており、来街者比率が高いことから、特に「移動手段」を持たない来街者への認知に一定の効果があったと考えられる。



モビリティ遷移数



モビリティ遷移の来街者/住民比率

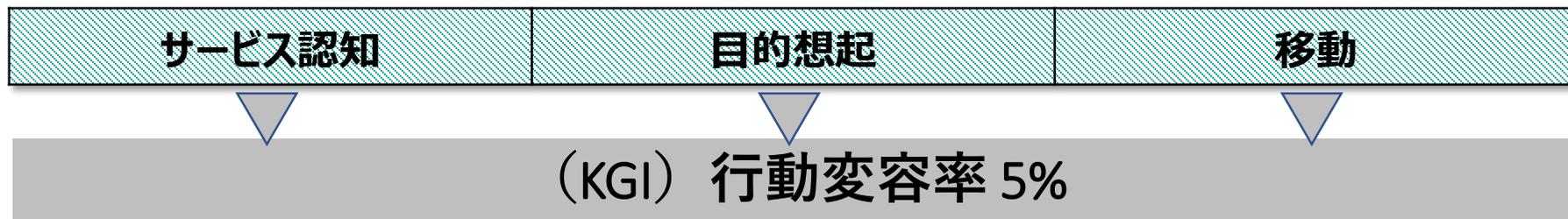
利用者の声（グループインタビューより抜粋）

カテゴリ	利用者の声
レコメンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分と無関係のレコメンドが来た（子供がいないのにベビー用品やランドセルなど）</li> <li>• タイムセールなど特別な情報が知りたい、混雑していないお店が知りたい</li> <li>• ご飯の通知は時間もよくて参考になってありがたかった。役立つ通知ならもっと多く欲しい</li> </ul>
クーポン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• クーポンが後押しになってランチを決めた。ユーザにも店舗にもよい仕掛けだと思った</li> <li>• MaaS限定など他にはない特別なクーポンがあるとよい</li> <li>• どのお店でクーポンが使えるのかが、掘らないと分かりにくい</li> </ul>
モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遠いと思ってあきらめていたが、シェアサイクルを使うことで楽に行けることが分かった。景色を見る余裕もできて気持ち良かった。</li> <li>• 別のアプリをダウンロードしたり登録が煩雑で利用をやめた。</li> <li>• あえてこのアプリ内で使わなくても、既存の交通アプリで十分な機能が多い。</li> <li>• 1つのアプリで複数の交通手段の予約や決済ができるようになれば価値があると思う。</li> </ul>
UI・UX	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 経路検索時にブラウザへ都度遷移するのは手間だった</li> <li>• アプリの地図にルートが表示されないので経路が分からない</li> <li>• マップ上にイベント情報がピンで設定されるのは良かった</li> </ul>

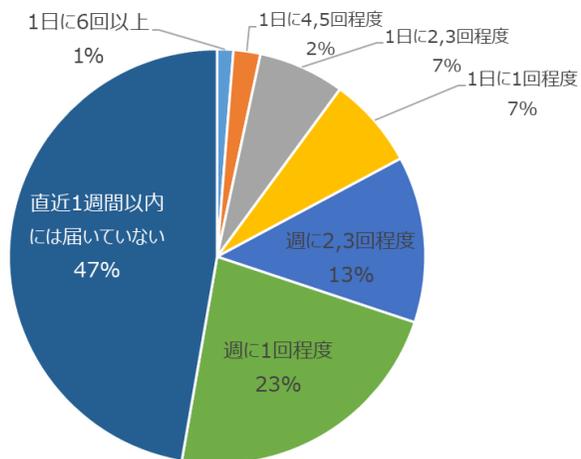
行動変容について

利用者アンケート上は、目標とした行動変容率の目標数値を達成

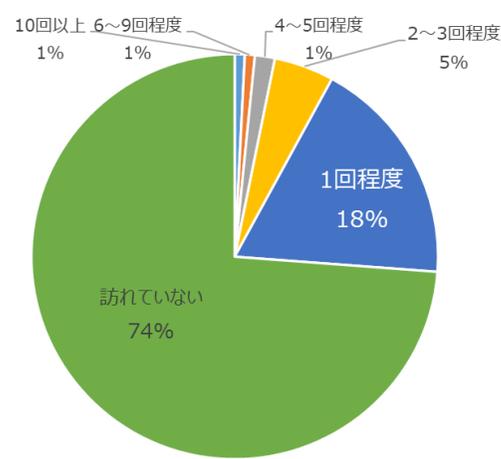
ただしアンケートはアプリ利用に意欲の高い利用者に偏る傾向もあるため、アプリログを分析し全体の数値で試算を行う予定。



MaaSアプリからのPush通知頻度 (N=126)



Push通知ををきかけとした訪問回数 (N=126)



行動変容率 = 総来訪回数 / 総Push数 \* 100 = 64.5 / 814 \* 100 = 7.9 (%)

## まとめ

- **開封率や行動変容率は昨年から改善。動的・静的情報に対する利用者別の反応を把握でき、一定の行動変容効果を確認。**

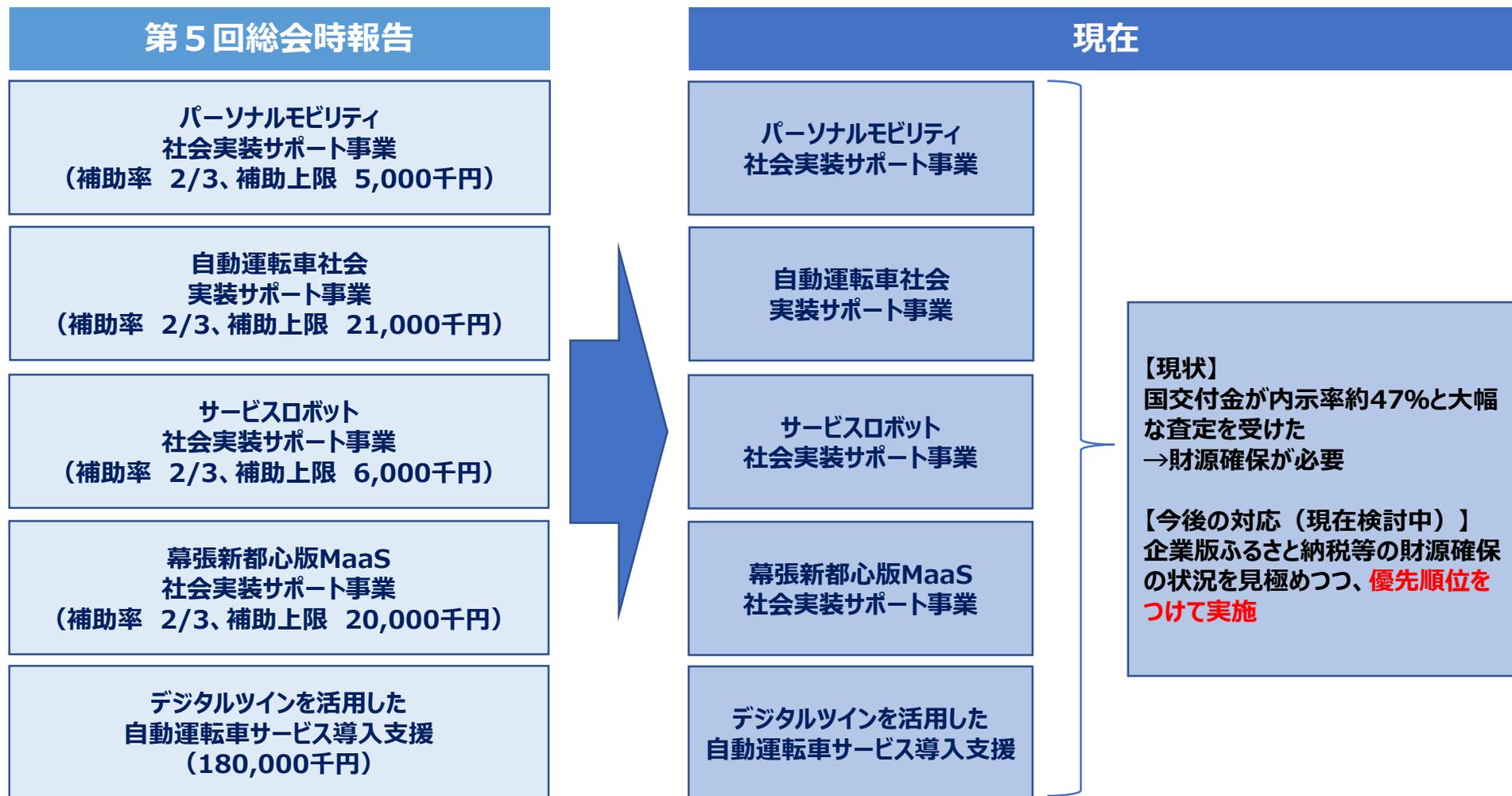
### 応用例

- 店舗情報だけでなく、混雑・特売情報など「旬」な情報を取り揃えていく。
  - ターゲット層を絞って集客をかける機能、インセンティブの設計など、人の関心を惹く
- **一方で継続的な利用が少なかったことから、本来、期待されるデータの収集には足りておらず、学習効果を高め正確性をあげていく必要がある。**
  - **特に利用者数の増加、学習効果の改善は「普段使い」となる利用者にとって分かり易い提供価値 = メインコンテンツをどう創るかが喫緊の課題。**
  - **行動変容の精度向上が高まり、経済行動（モノ・コト・交通）、防災、GX、混雑回避等に応用することで事業性の可能性を探っていきたい。**
  - **上記について、今後コンソーシアムにおいて、サービス設計からビジネスモデル創出まで、皆さまからご意見を頂戴し、将来の持続できるMaaSの絵姿を議論させていただきたい。**

## (4) 2023年度千葉市事業

## 2023年度事業

千葉市が行う事業について、国からの交付金が想定よりも大幅にカットされたことから、以下のように検討中となっております。



## (5) P T 概要説明

# 幕張新都心モビリティコンソーシアム P T 提案①

**自動運転バス 社会実装 P T**  
損害保険ジャパン株式会社、アイサンテクノロジー株式会社

提出年月日：令和5年5月25日

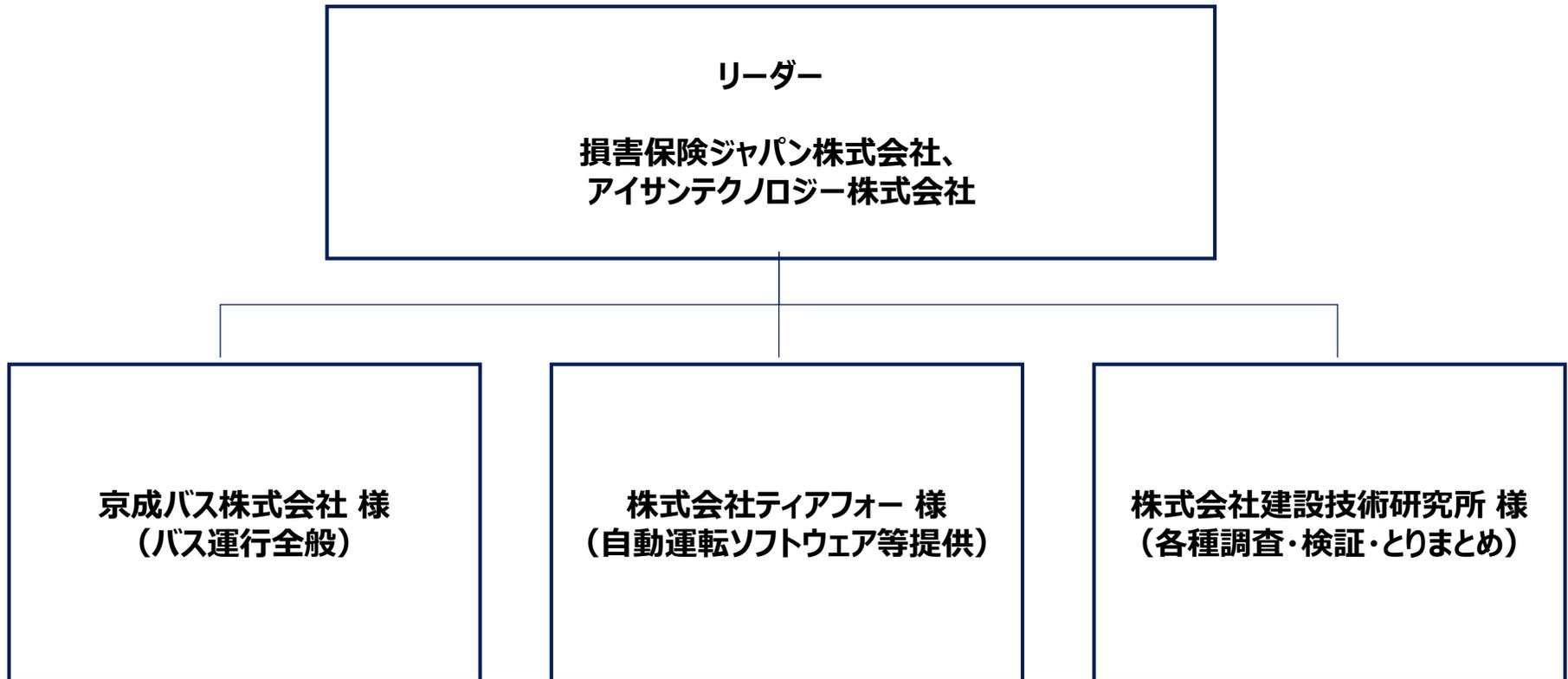
## ① P T 概要

提案する P T は以下の通りです。

P T 名	自動運転バス 社会実装 PT
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2025年度中に幕張エリアにおける自動運転バスの社会実装を目指す。 そのために必要な課題を本PTで整理し、実装に向けた具体的なスキームを確立させること。</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 社会実装に向けた各種準備、運営の枠組み構築・実装段階でのビジネスモデルの検討および実装に向けた各種準備</li> <li>✓ 検討の視点             <ul style="list-style-type: none"> <li>①自動運転バスの技術向上 ②自動運転バスの社会受容性向上</li> <li>③自動運転バスの経済的持続性の確保 (☆)</li> </ul> </li> </ul>
期待効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ まちの賑わい、回遊性の向上</li> <li>✓ 都市部における自動運転バスの成功モデル化</li> </ul>

## ②体制

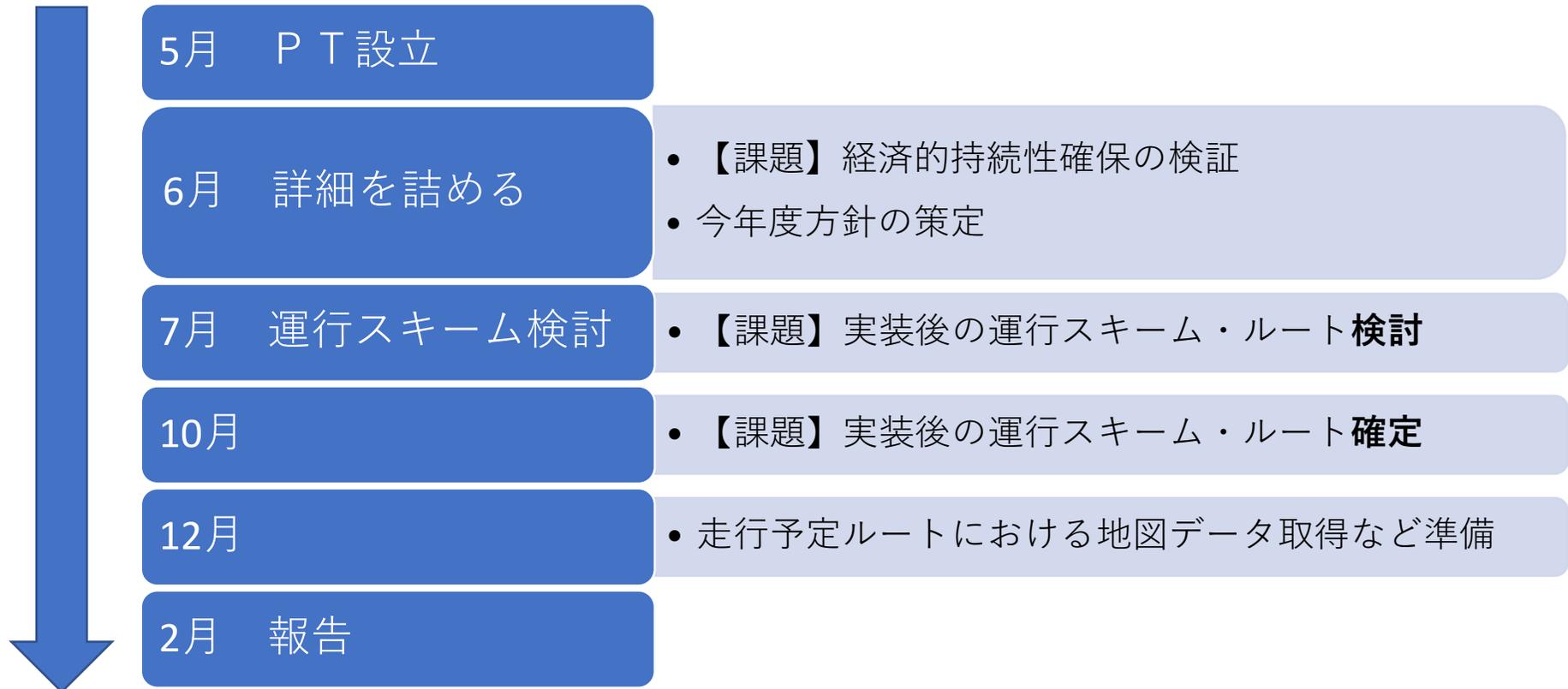
P Tの座組とメンバーの役割は以下の通りです



※体系図で簡単に役割を記載してください

## ③スケジュールと課題

マイルストーンと各種課題は以下の通りです



## ④ P Tメンバー以外に求めること

コンソーシアムメンバー・千葉市へは以下の点について、ご協力を頂きたい。

コンソ メンバー	✓ 経済的持続性の確保にあたっての効果的なアドバイスやアイデアの共有
千葉市	<p>&lt;全般&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 自動運転バスの社会実装に関する政策面でのご支援</li><li>✓ 社会実装後の事業継続に関する協議（KPI設定など）</li><li>✓ 自動運転バスの初期投資費用の財源確保に向けた協議</li><li>✓ インフラ整備費用の財源確保に向けた協議</li></ul>

# 幕張新都心モビリティコンソーシアムP T提案②

## 巡回バス機能の向上による回遊性向上P T

イオンモール株式会社

提出年月日：令和5年5月24日

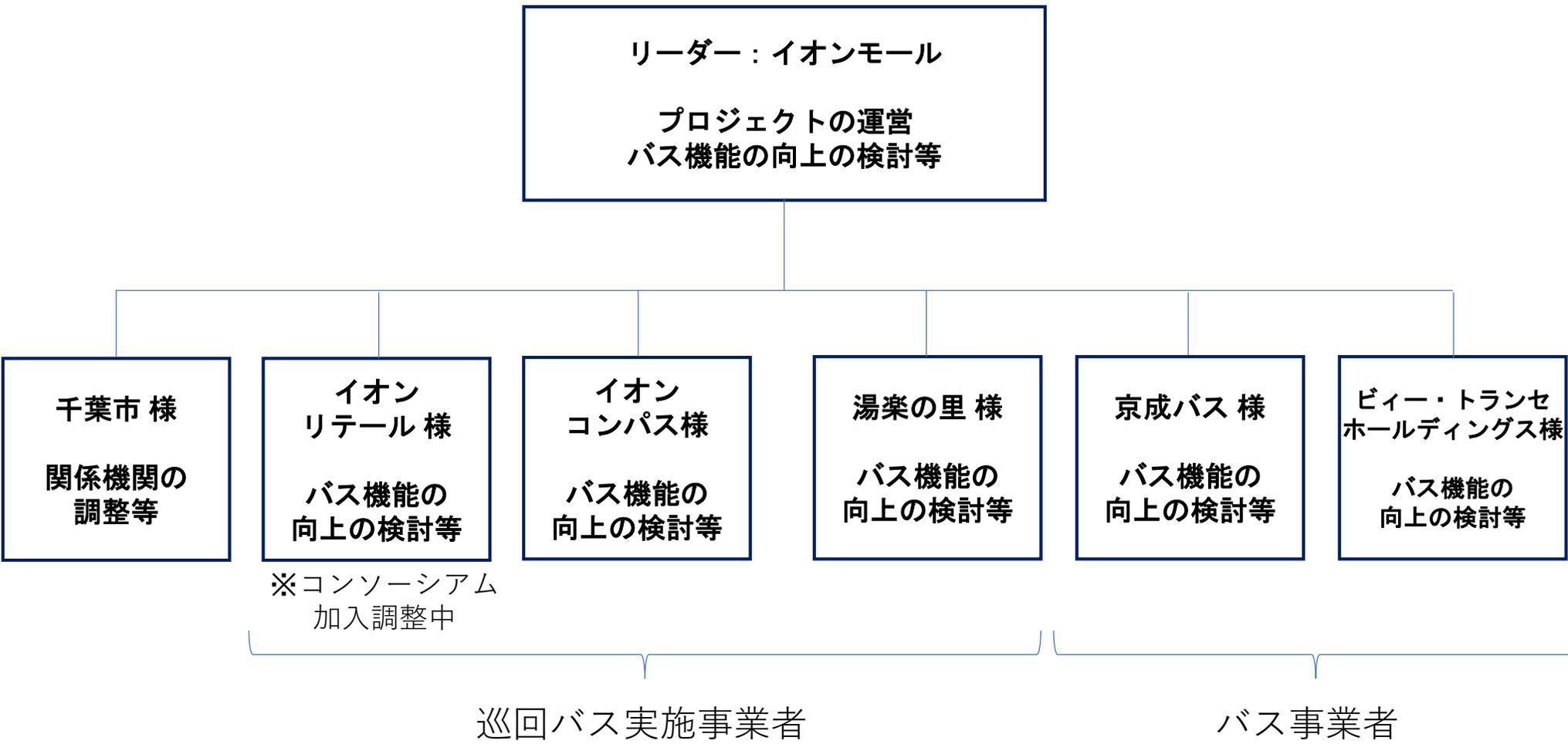
## ① P T 概要

提案する P T は以下の通りです。

P T 名	巡回バス機能の向上による回遊性向上PT
目的	オンデマンドバスシステムを含めたバス機能の向上により、エリア内の交通の最適化や回遊性向上を図る。将来的な自動運転技術の導入も見据える。
実施内容	オンデマンドバスシステムの導入による巡回バスの置き換えの検討や、その他、バス事業者・既に周遊バスを運行している事業者との意見交換や具体策を展開し、将来的な新システム導入を図る。
期待効果	エリア内の交通の最適化や回遊性向上、利用者の利便性向上に加え、事業者視点でのコスト削減や運転手の業務環境改善等を図る。

## ②体制

P T の座組とメンバーの役割は以下の通りです



## ③スケジュールと課題

マイルストーンと各種課題は以下の通りです

Task	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
PT設立									
各事業者の課題感の整理・具体策の検討									
実施内容の詳細の検討									
関係機関との協議・調整									
実証実験実施（見込み）									
実証実験の検証（見込み）									

### 【検討事項】

- ・ 各事業者の課題の整理
- ・ 実施内容の検討（オンデマンドバスシステム、実施エリア、時期、時間帯等）

## ④ PTメンバー以外に求めること

コンソーシアムメンバー・千葉市へは以下の点について、ご協力を頂きたい。

コンソ メンバー	<ul style="list-style-type: none"><li>● 各事業者の課題の共有</li><li>● バス機能向上における具体策の協議</li><li>● 実証実験の実施 等</li></ul>
千葉市	<ul style="list-style-type: none"><li>● PT運営のサポート(他事例・モデルケースの提示等)、及び、実証実験時の各種調整</li></ul>



# 幕張新都心モビリティコンソーシアムP T提案③

## MASSIVE WORLD活用 P T

Super Massive Global株式会社

提出年月日：令和5年5月18日

## ① P T 概要

提案する P T は以下の通りです。

P T 名	MASSIVE WORLD活用PT
目的	MASSIVE WORLDアプリを利用したイベントを実施し、モビリティを利用して幕張新都心を中心とした主要商業施設やベイエリアの回遊を促し、その効果の測定を行う。
実施内容	<p>MASSIVE WORLD内のイベント期間中に、京成バス様などの交通手段を利用し、MASSIVE WORLD内の指定ポイントで陣取り合戦を行う。陣取り先を商業施設やコンソーシアム会員様の店舗に設定。</p> <p>回遊先のアクセスポイントを抑えて、イベント終了時にどれだけの領地を取れているかを競う。</p> <p>ランキング形式として、上位者には各種商業施設で利用可能なクーポンなどを配布する。</p>
期待効果	<p>イベント期間中の各商業施設への送客とシェアサイクル、バス、電車の利用率増加。 今回のPrjを通して、特別なアクセスポイントで人の回遊を促せるかを検証。</p> <p>ここで上手く行けば、今後MASSIVE WORLDに実装予定の決済機能を使って、経済効果もより明確に確認することが可能。</p>

## ②体制

P T の座組とメンバーの役割は以下の通りです



※体系図で簡単に役割を記載してください

③スケジュールと課題

マイルストーンと各種課題は以下の通りです

Task	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
PT設立								
AP選定 クーポン発行								
企画詳細検討								
要件定義								
アプリへ企画実装								
イベント実施								

【検討事項】

- AP関連（場所の選定、イベント内容の詳細、取得できるアイテムやポイント種類
- クーポン利用先関連（どこで使えるか、どのように使うか）

## ④ P Tメンバー以外に求めること

コンソーシアムメンバー・千葉市へは以下の点について、ご協力を頂きたい。

コンソ メンバー	<ul style="list-style-type: none"><li>● クーポン利用について議論の場を設け、クーポン利用の可否なども含めてご検討頂く機会を頂戴したい。</li></ul>
千葉市	

## 参考

### 「MASSIVE WORLD」のご紹介



2023年7月正式リリース

共通の「好き」をテーマにチームを作り、チームの領土を広げ  
ゲームに勝利することでトークンが稼げる**位置連動型ブロックチェーンゲーム**です。



徒歩・自転車・車など、  
すべての移動手段で移動距離や店舗利用に応じて  
ポイントが貯まります。



共通の「好き」をテーマに  
コミュニティを組成し、  
ゲームに参加することが出来ます



ゲームに勝利することで  
資産性のあるトークンが貯まります。



貯めたトークンは  
現金化 / 決済に利用することが出来ます  
(2024年1月以降実装予定)



# 3 連絡事項

事務局（千葉市）

## 連絡事項

事務局からのアナウンスは以下の通り

### 1. 資料の取扱い

- 本日の資料は、原則公表とさせていただきます（非公表のページは、千葉市ホームページに掲載する際に削除します。）。

### 2. 議事要旨の確認

- 事務局にて案を作成し、各会員様の確認を経て、千葉市ホームページにて公表させていただきます。

### 3. 2023年度の総会・中間まとめ報告会のスケジュール

- 10月頃に中間まとめ報告会、来年3月に第7回総会を開催する予定です。

### 4. 交流会

- 総会終了後、現地会場にて開催いたします。

# 幕張新都心モビリティコンソーシアム 第6回総会

ありがとうございました！

MAKUHARI  
NEW URBAN  
CENTER

以上